

宮私幼PTAだより

第75号

(発行者) 宮私幼PTA連合会
(編集者) 渥美巖
(発行所) 仙台市青葉区国分町三丁目6-12 正第二ビル6F
電話 (022) 263-7040



会長 渥美 巖

『子ども手当』継続には 安定財源が必要！

鳩山政権誕生から半年経過、二〇一〇年度予算が昨年末閣議決定されました。一般会計総額は九二兆二九九二億円で過去最大に膨らみ、その財源は税収が三七兆三九六〇億円に落ち込む一方、借金で

ある国債が四四兆三〇三〇億円と増加し、将来世代に不安を引き継ぐ網渡りの財政運営となりました。

厳しい財政の中で、政権公約であった中学生までの子ども手当(月額一萬三千円)が計上されたことは子育て家庭から評価されているものと思います。しかし初年度の子ども手当総額は二兆二五五億円で、次年度からは月額二万六千円に倍増される事を考える時、国の財政が心配です。国の債務残高は約六六二兆円で地方約二〇〇兆円と合わせると八六二兆円に膨らみ、国民一人当たり約六七五万円となります。これは少子化時代の将来世代が返還することになりますので、これ以上借金を増やさないことが日本の

信用につながると思いますし、子ども手当の財源は国債(国の借金)以外で賄うべきと考えます。又、支給方法についても一考すべきと思います。県内小中学校の給食費未納児童・生徒は約四千人、一億円を超える額となっております、年々増加傾向にあります。未納している子供の給食費を考えると心が痛みます。給食費等学校でかかる経費を差し引いた額を、家庭に支給すべきでないかと思えます。

国にとって、人口を維持していくこと。家庭にとって、子育てを安心して出来ること。どちらも大変な事であり、このことが「子ども手当」の創設につながったものと思えますので、将来とも継続し、宮城の子ども達が安心して幼稚園に通えることを願っております。

結びに昨年の十二月、私立幼稚園に対する補助金の陳情を村井知事に行い、前向きな回答をいただいておりますことを報告いたします。挨拶といたします。

全日本私立幼稚園PTA連合会 全国大会に参加して



布田 早苗
去る十二月九日、私立学会館東京アルカディア市ヶ谷に

おいて全日本私立幼稚園PTA連合会の第二十四回PTA全国大会が開催されました。



曾根弘文自民党幼児教育議員連盟会長より謝辞を賜りました。鈴木文部科学副大臣は、家庭・幼稚園・地域が最も重要であり、その中で思いやりの気持ちで幼児達に生まれてくる。私達の宝であるすべての子どもたちのために子ども手当を導入することになった経緯を説明されました。

大会宣言案を保護者代表の井上貴子様が宣言文を読み、拍手で承認を得、文部科学副大臣に手渡されました。

第二部の記念講演では、セインの子育て奮闘記「子供の食育と成長」をテーマにテレビでも活躍されているタレントのセインカミュ氏により講演が行なわれました。実生活では、二男一女のイクメン(育児メンズ)パパです。家庭内での会話語も多彩で、一日一回はどんなに忙しくても家族皆で食卓を囲み、食事を通しての会話を大切にしているそうです。 motto「相手の家の教育法も尊重する。」

また、本の読み聞かせを通してのコミュニケーションや体を動かす遊びも取り入れ、驚きの毎日と話されていました。

議員の方々やセイン氏のお話を伺い、幼児教育の目的はこどもを幸福にすることであると、こどもたちが、美・利・善という価値を創造していくための教育であると思えました。幼児教育(幼稚園)で学ぶことはいろいろなことを体験した喜びを見いだし思いやりの

身をつけるなど人格にも大きな成長を遂げ、小学校、中学校へと進めるのだと思えました。

最後に今年度の宮私幼の役員として貴重な体験をさせて頂きましたこと、とても嬉しく思っております。本当にありがとうございます。



おしらせ

- 平成22年度総会
・期日 6月8日(火)
・会場 仙台市民会館小ホール
- 平成22年度
宮城県私立幼稚園教育振興大会
ならびに
第38回宮私幼PTA研修大会
・期日 7月13日(火)
・会場 東京エレクトロンホール
宮城大ホール(県民会館)

「第三十五回親善バレーボール大会」について

国見幼稚園（P）

金沢 たみ子

昨年の十月二十二日、第三十五回親善バレーボール大会が利府町のセキスイハイム・スーパリアーナにおいて開催されました。

当日は、朝早くから県内各地より多くのチームが参加し、無事に大会を終了する事が出来ました。

大会当日を迎えるまでには、事前に行われました組合せ抽選会から多くの皆様にご参加を頂きバレーボール大会に寄せる皆さんの熱気と真剣さをとても強く感じる事が出来ました。

日頃の家事や育児に追われながら合間に行われる少なくない練習



時間にも関わらず、試合では一致団結しボールを追う姿にはとても感動しました。

また、サポーターの方々の応援



にも色々な趣向を各チームで行い、チーム一丸となり大会を盛りあげていただきました。大会が平日の開催の為、園児の応援は数える程でしたが子供達のカワイイ声援はどのチームの方々にも力強く届いたのではないのでしょうか。

当日は朝早くからの為、選手の皆さんもさておき大会の参加に際し、ご家族の方々のご理解とご協力にも感謝させて頂き、大会運営にあたり協会関係者の方々、審判団の方々には、大変ご尽力を頂き御礼申し上げます。

今回も一人の負傷者もなく大会が無事終える事が出来た事は何よりに思っています。

これからも楽しく活気あふれるバレーボール大会が開催されますよう応援させて頂きます。

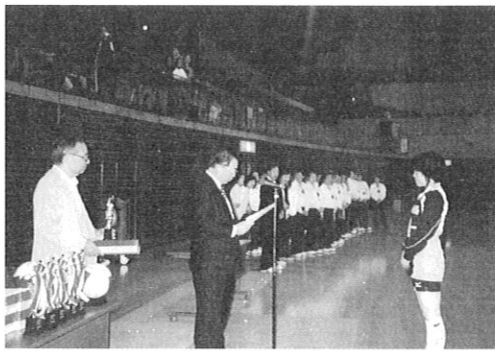
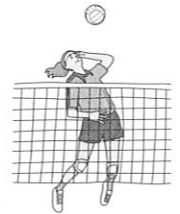
参加チームの皆様多くの感動をありがとうございました。

最後に、審判団の方々と協会関係者の方々大変ご苦勞様でした。

第三十五回親善バレーボール大会

入賞チーム

ブロック	優勝チーム	準優勝チーム
A	こどもの国	南光紫陽
B	八幡花園	パドマ
C	岩沼南こぼと	みやの森
D	利府おおぞら	やまびこ
E	すがわら	福聚
F	西多賀	あけぼの



お知らせ

第36回親善バレーボール大会
期日 平成22年10月19日(火)
会場 宮城県総合体育館
(セキスイハイム・スーパリアーナ・利府町)

輝く受賞

おめでとうございます

去る十二月十一日、ホテル仙台プラザにて宮私幼祝賀会が開催されました。

〇畑中てる子先生

(気仙沼市九条幼稚園理事長)
県知事表彰(教育文化功労)

〇齋藤潤子先生

(仙台市聖ドミニコ学院北
仙台幼稚園園長)
県教育委員会委員長表彰

お二人共、幼稚園教育に永年尽力された功績により表彰されました。本当におめでとうございます。

(副会長 横澤行夫)



知事陳情報告

副会長 稲富 将夫

昨年十二月十五日、県庁会議室に於て、知事二期目にご就任なされた村井知事に表敬訪問をし、平成二十二年度私立幼稚園に対する補助金等に関する陳情書をお渡しいたしました。宮私幼連合会より村山理事長外執行部の方々、宮私幼振興対策協議会より三塚百台子会長外役員の方々、PTA連合会より渥美蔵会長、中島源陽副会



長、布田早苗副会長、横澤行夫副会長、寺澤正志常任委員長と稲富、県私学文書課より課長の外関係職員との立会のもと、村井知事に対し、宮私幼の厳しい実態を率直に訴え、平成二十二年度の予算編成におかれましては、私立幼稚園の健全な経営と幼児教育の充実に格段のご配慮を賜うことを強く要望いたしました。特に布田副会長さんからは親としての子どもへの熱い願いを切々と述べられ、知事は最後まで耳を傾け、要望に対して真摯に受けとめ、前向きに期待に沿うよう努力していきたい旨のお話しを頂きました。

地区活動報告

平成二十一年度

仙南地区PTA研修会

「子どもは遊んで育つ」

いちようの実幼稚園(P)

阿部 由美

昨年十二月十四日、巨理町中央公民館大ホールにおいて、宮城県私立幼稚園PTA連合会仙南地区研修会が開催されました。

「子どもは遊んで育つ」というテーマで、尚綱学院大学教授の東義也先生にご講演いただきました。今回は、私達の希望で先生にギターを持参していただき、歌を混じえた楽しい研修会にしたいと企画しました。

東先生は、幼稚園の園長先生をされていた経験もあり、実際に子ども達と遊んできたエピソードをたくさん話していただき、会場の皆さんは大きくうなずきながら聞いていました。

穴掘りのエピソードでは、子どもから「砂場で穴を掘ろう」と誘われ、二人で掘り始めると、「先生、赤土が出てきたよ!」「今度はコンクリートのかたまり見つけた!」と、どんどん穴を掘り続ける様子。そして集中して力を出してやっている子どもの姿をおし



て、何かを見つけた時の生き生きとした子どもの表情に心を打たれたというお話でした。その子の遊びにじっくり付き合い共感すること、子どもの世界を体験し、遊びの意味を知ることが出来るのだろうかと思いました。

「遊びが子どもを育てる」「子どもの遊びには意味がある」という東先生の言葉を具体的に表現しているお話でした。

先生のお話を聞いて、日頃私は子どもの遊びにじっくりかかわっていたらどうかと、今までの自分を振り返ることができました。そして、子どもの遊びを見守り、腰を据えて一緒に遊んでみることで、子どもの遊びの意味や、伸びようとしている姿がわかってくるのだということを感じました。とても

具体的なお話で、これからの子育てのヒントになることがたくさんありました。

幼稚園就園奨励費 格差是正総決起集会

去る十一月二十四日、標記の緊急集会がもたれ、仙台市民会館小ホールに、仙台市はもちろん県下各地区から四百名になんなんとする幼稚園の保護者の皆さま方が参集しました。



来賓として民主党宮城県支部連合会代表岡崎トミ子氏(代理)をはじめ宮私幼PTA連合会顧問の元国会

総決起集会

議員、県議会議員の方々をお招きし、和気あいあいの中に開会されました。

また、この日のためにご尽力頂いた皆様、心に残る講演と演奏をしていただいた、東義也先生に、深く感謝と御礼を申し上げます。

なかなかこのような講演会に参加する機会がない父母の方も多中、今回の感動、感激いっぱい研修会ができたことを、本当に嬉しく思っています。

村山十五理事長と宮私幼PTA連合会の渥美藏会長の挨拶につき、来賓代表として菊地文博県議会議員(民主党)から「今、皆さんが最も望んでいること、そしてこの決起集会が実りあるものになるように国に働きかけてまいります。」と力強い挨拶がありました。



つづいて、この日の眼目である要望書の朗読・採択が行われました。

布田早苗宮私幼PTA副会長が「幼稚園就園奨励費補助についての要望書」(別記)を読み上げ、参加者全員の大きな拍手で採択され、要望書を岡崎議員(代理)に手交し、政府に提出することになりました。

最後に、佐々木兩道仙私幼PTA連合会会長の客観情勢をふくめての熱のこもった閉会のことばで意義のある決起集会が終了しました。

後日談になりますが、決起集会から一ヶ月後に、平成二十二年度の予算案が、文科省から発表になりました。我々の要望の平成二十一年度と同様の補助単価には至りませんが、それに近づくような努力が見られる結果となりました。

正に、このたびの決起集会の成果であると言って過言でありません。(広報部長)

幼稚園就園奨励費に ついでにの要望書

今般、平成二十二年度の幼稚園就園奨励費補助の概要が示されておりますが、子ども手当の創設を踏まえて、補助単価の在り方が抜本的に見直されております。

その中で、幼稚園就園奨励費の総額は増加しているものの、年収が三百六十万円を超えて六百八十万円以下の世帯に対する第一子の補助額が、平成二十一

年度と比べると、六万二千二百円から三万七千二百円も減額され二万五千円になります。

就園奨励費補助金は、保護者の経済的負担の軽減を図るために、昭和四十七年より設けられた制度であり、教育基本法に幼児期の教育が新設されるなど、幼稚園における幼児教育の重要性が増してきているなかで、前年度と比べて補助金額が半額以下になることは問題が大きいと考えます。

その理由として、子ども手当の創設をあげておられますが、子ども手当は幼稚園に通園している世帯のみならず、中学校終了までの子どもがいる世帯については、一律に支給すると何っており、今回の第IV区分の大幅な補助の減額は到底納得できるものではありません。

よって幼児教育の重要性と保護者の経済的負担の軽減を十分ご考慮いただき、減額を考慮しておられる区分については、平成二十一年度と同様の補助単価としていただきますよう、強く要望いたします。

平成二十一年十一月二十四日
文部科学大臣
川端 達夫様
幼稚園就園奨励費
格差是正総決起集会

(社)宮城県私立幼稚園連合会
仙台市私立幼稚園連合会
宮城県私立幼稚園PTA連合会
仙台市私立幼稚園PTA連合会

会員の広場

体験学習

葦の芽星谷幼稚園(P)

藤田 純一



私の家で
は自営業を
営んでおり、
夏は海水浴
場での海の

家、地引き網等を行っています。
私の息子も年中になり、夏休みに
なっても一緒に遊んでやる時間さえ
ない毎日でした。

しかし、いつの間にか、地引き網の
団体さんの中に紛れ込んでいること
が多くなつて、そのうちに、網の先端
の部分、海に入つて取りに行つてく
れることを覚えたり、捕れた魚の説明
を団体のみなさんにしてくれるよう
になり、団体さんたちの集合写真に
は、必ず真ん中で魚を持ってピースを
している息子の姿がありました。

そんな息子のキラキラ輝く眼差し
と生き生きとした表情を見て、何だか
自分の昔の姿を見ているように思え
た反面、一年一年の子どもの成長は素
晴しいと感じ、息子を頼もしく思えま
した。

今の時代、外で元気に体を動かして
遊ぶといった光景はなかなか見られ
ない現状にあります。やはり、子ど
もは自分の目で見て、自分の体を動か
して体験することこそ、昔も今も変わ
らない「体験学習」なのではないで
しょうか。

「エール」

エコールノール幼稚園(P)

高橋 征子



幼いお
子さん連
れのママ
を見ると
十数年程

前の自分の事を思い出す事があり
ます。長女が誕生しすぐに
住み慣れた土地を離れての生
活。慣れない育児と知人のいな
い土地ですっかりブルーになつ
てしまいました。淋しさを紛ら
わすためにベビーカーをどこま
でも押して散歩しました。二歳
違いの次女が誕生し、てんでこ
まい。そんな時、道ですれ違
う方に「大変ねー」「かわい
い赤ちゃんねー」などと声を掛けられ
てどれだけ気持ちが悪くなつ
た事でしょう。ぐずる我が子を
優しくあやしてくれた方、電車
内で子供達が寝てしまい、下車
する時に困っていたら、わざわざ
ざホームまで降りて手助けして
くれた方。今思い出しても胸が
ほっこりとあたたかくなります。
この時期の自分に今言える事は
「この大変さは今だけ」という
事。私が現在かかえている不安
も、先輩ママにしてみれば「今
だけよ。何とかなるから」なの
でしょう。

お子さん連れで大変そうなマ
マさんがいたら、私も勇気を出
してエールを送りたい。

子ども達の笑顔に励まされて

万石浦幼稚園(P)

奥津 恵



幼稚園教
諭となつて
から早いも
ので十七年
が経とうと

していません。教師になつたばかり
の頃は、右も左もわからない状況
でしたが、子ども達の笑顔に励ま
され、今日まで続けてくること
ができました。

初めて年長クラスを担当した時、
大きな行事を成功させることがで
きるか、と緊張する私を支えてく
れたのは「先生、がんばろうね。」
と笑顔で言ってくれた子どもの一
言でした。きつと不安そうな顔
をしていたのでしょうか。教師とし
て失格ですね。その一言で「私が
しっかりしなければ」と気づか
されました。数年後、その時の子
ども達が中学校の卒業式の日、卒
業証書を手に幼稚園に来てくれま
した。うれしさとともに教師を続
けていてよかったと思えました。

私も二児の母となり、これまで
とは違った面からも子どもの姿や
気持ちを考えられるようになり、
また保護者の方々のご苦労や悩み
そして喜びも少しずつではありま
すがわかるようになってきたよう
に思います。
これからも私自身が笑顔忘れ
ず、子ども達と向き合っていきた
いと思います。

就園奨励費の維持確保について

なとり第二幼稚園(P)

星 香苗



先日、名
取市内の私
立幼稚園の
園長先生と
PTAが集

まり、名取市役所の応接室に
於いて、佐々木一十郎市長に対
しまして、「私立幼稚園就園奨励
費助成の維持・確保」の要望書
の提出をして参りました。十二
月に行われた全日本私立幼稚園
PTA連合会全国大会でも、お
話が出ていたようですが来年度
の文部科学省予算案におきまし
て年収が六百八十万以下の第四
階層と呼ばれている方々だけが、
補助基準額が今までよりも大幅
に減額する内容となっております。
この第四階層は、全私立幼
稚園園児数の約半数を占めてお
りますが、この第四階層だけが
子ども手当の恩恵を満額享受で
きないことになりそうです。私
たちは、すべての幼児に等しく
支援の手を差し伸べて頂けるよ
う、補助基準額の維持をお願い
や幼児教育の重要性などについ
て、沢山お話をさせて頂いただ
きました。これから先も、私たち
の現状について、市や県、国な
どに対して、皆で声を大にして
訴える事の必要性が大事だと思
いました。

あとがき

春よ来い 早く来い

おうちの前の 桃の木の
つぼみも みんなふくらん
で……春を待つ歌が聞こ
えてくるようなこのごろです。
小学校への入学に胸をふく
らませる年長さん達の輝くよ
うな眼、進級の喜びを心にひ
めて、ぼくたち、わたしたち
も、つづきますよとがんばる
年中、少さん。それぞれが春
の準備にいそしむこのごろ
です。

おかげさまで、「宮私幼P
TAだより」第七十五号をお
届けすることになりました。
本号にご寄稿いただきました
皆様様に深く感謝を申しあげ
ます。
ありがとうございます。
お礼を申しあげて
“あとがき”いたします。
(T)

編集委員

- 副会長 稲富 将夫(夫本はなぎ)
- 事務局次長 横澤 行夫(お人形社)
- 事務局次長 小野 暢彦(清水T)
- 部長 高野 榮(しらとりT)
- 副部長 阿部ふき子(いちよの春)
- 部長 藤田 純一(葦の芽星谷P)
- 部長 島山ひで子(九条T)
- 部長 吉田 梯子(府おぞらP)
- 部長 阿部 由美(いちよの春)